

# ボーリング柱状図

調査名 中央区六本松4丁目地内外3件土質調査業務委託

ボーリングNo.							
----------	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.1		調査位置	福岡市中央区六本松4丁目				北緯	33° 34' 35.4"		
発注機関	福岡市水道局西部管整備課			調査期間	平成27年8月26日～27年12月15日			東経	130° 22' 35.8"		
調査業者名	新地研工業株式会社 電話(092-611-5211)		主任技師	徳田充樹		現場代理人	山下堅志	コア鑑定者	徳田充樹	ボーリング責任者	西川正信
孔口標高	3.55m	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	東邦製 D0-D	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	10.00m	度	0°	向				試験機	東邦製 D0-D	ポンプ	東邦製 BG-3C
								エンジン	ヤンマー製 NFAD8		

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験 (掘進)
										深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値	深 (m)				
1				盛土・シルト混じり砂質礫	暗褐色	緩い				1.65	1/15	1/15	2/30					
2	1.60	1.95	1.95		砂混じり粘土	暗灰	軟らかい	舗装の下は砕石やマサ土が混合しており、φ200mmのグリ石が敷かれている。	10/21	1.95	1/15	1/15	3/30					
	1.25	0.35	2.30					若干乾燥しているが、こねると軟質。腐植物が混じる。	2.15	1	1	1	3/30					
3					砂	灰	緩い	石英粒子の粗砂からなる。細粒分は殆ど含まず、緩く崩壊しやすい。	2.45									
	-0.15	1.40	3.70						3.15	2	1	2	5/30		3.15	P1-1	物理	
4					シルト混じり砂	黒灰青	緩い	中砂が主体でシルトを不規則に少量含む。4m付近まではφ10mmの礫や腐植物が混じり色調が暗い。	3.45									
	-1.45	1.30	5.00						4.15	1	2	1	4/30		4.15	P1-2	物理	
5					砂	青灰	緩い	石英粒子の中砂～粗砂からなる。細粒分は少なく、透水性が高い。	4.45									
	-3.35	1.90	6.90						5.15	3	4	3	10/30		5.15	P1-3	物理	
6					粘土	青灰	軟らかい	含水量がやや多く軟質である。	5.45									
	-3.90	0.55	7.45						6.15	4	4	5	13/30		6.15			
7					砂	青灰	中ぐらい	中砂～粗砂からなる。深度5.00～6.90mの砂と同程度であり、シルトを若干含む。	6.45									
	-5.25	1.35	8.80						7.15	1	2	1	4/30		7.15	P1-4	物理	
8					砂岩	黄褐色		上部は風化しているが、全体的に軟岩(I)程度である。本来良好な岩盤であるが、シングルコアチューブ使用のためにコアはバラバラに破断される。	7.45									
	-6.45	1.20	10.00						8.15	5	4	5	14/30		7.45			
9									8.45									
									9.10	50/8			50/8					
10									9.18									
									10.00	50/5			50/5					
									10.05									
11																		

- ・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があり、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
- ・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。